

薬局における 認知症患者の早期発見への取り組み その1

26PB – am206

星野 佑弥¹, 三谷 陽子¹, 高木 諭志¹, 武政 景太¹, 中本 淳子¹, 山本 博子¹,
山崎 純世¹, 佐々木 愛¹, 里吉 良子¹, 高原 愛¹, 馬島 彬¹, 中原 保裕²

(¹ 三谷調剤薬局, ² ファーマシューティカルケア研究所)

目的: 2015年に国から示された“患者のための薬局ビジョン”では健康サポート機能を有する薬局のあり方が示され、同時に新オレンジプランでは認知症の初期段階での早期発見の重要性が示された。

我々は薬局がその役割を果たすことの重要性を認識し、薬局でどのようにして患者にアプローチすることが適切なのかを検討する取り組みを開始した。

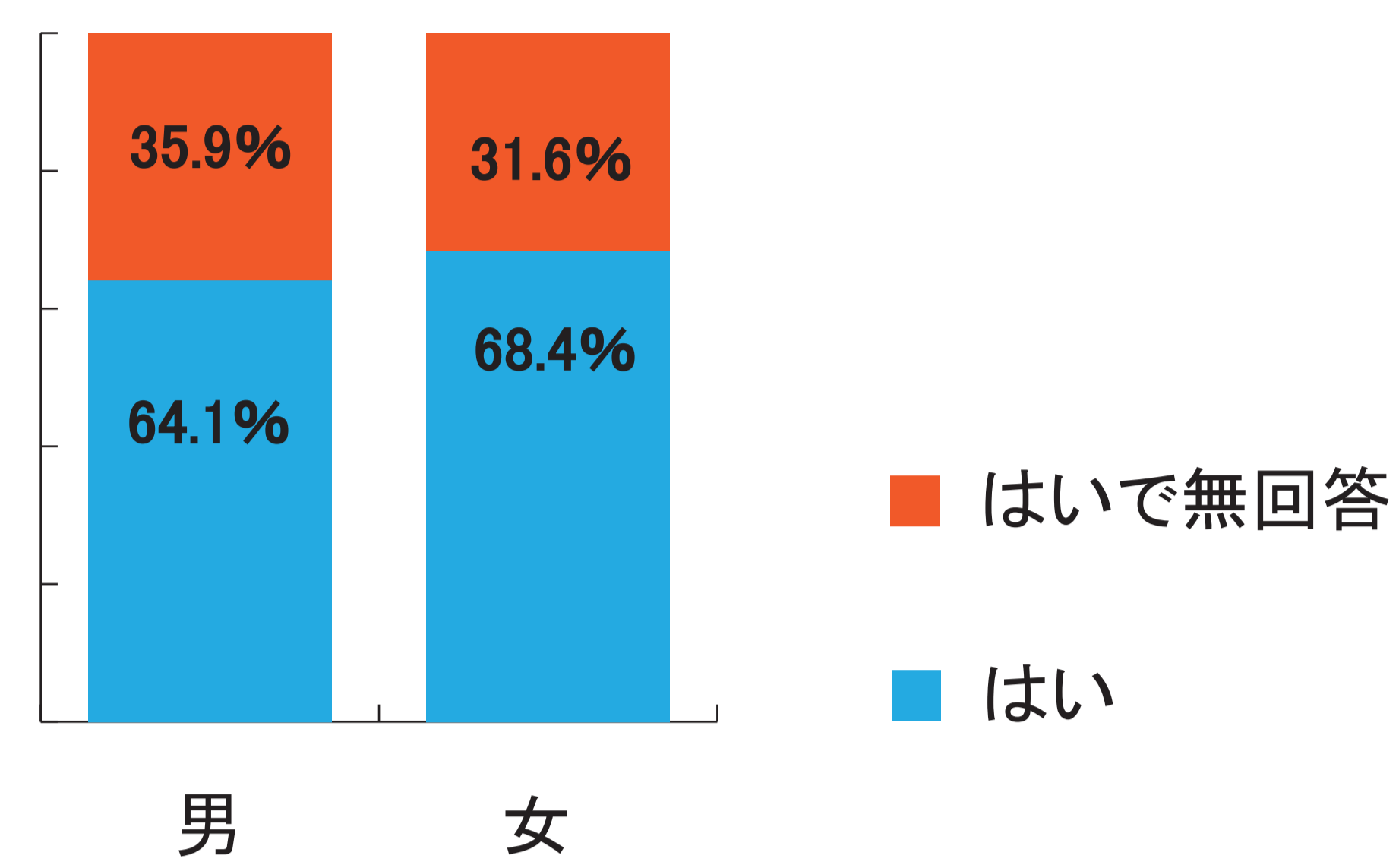
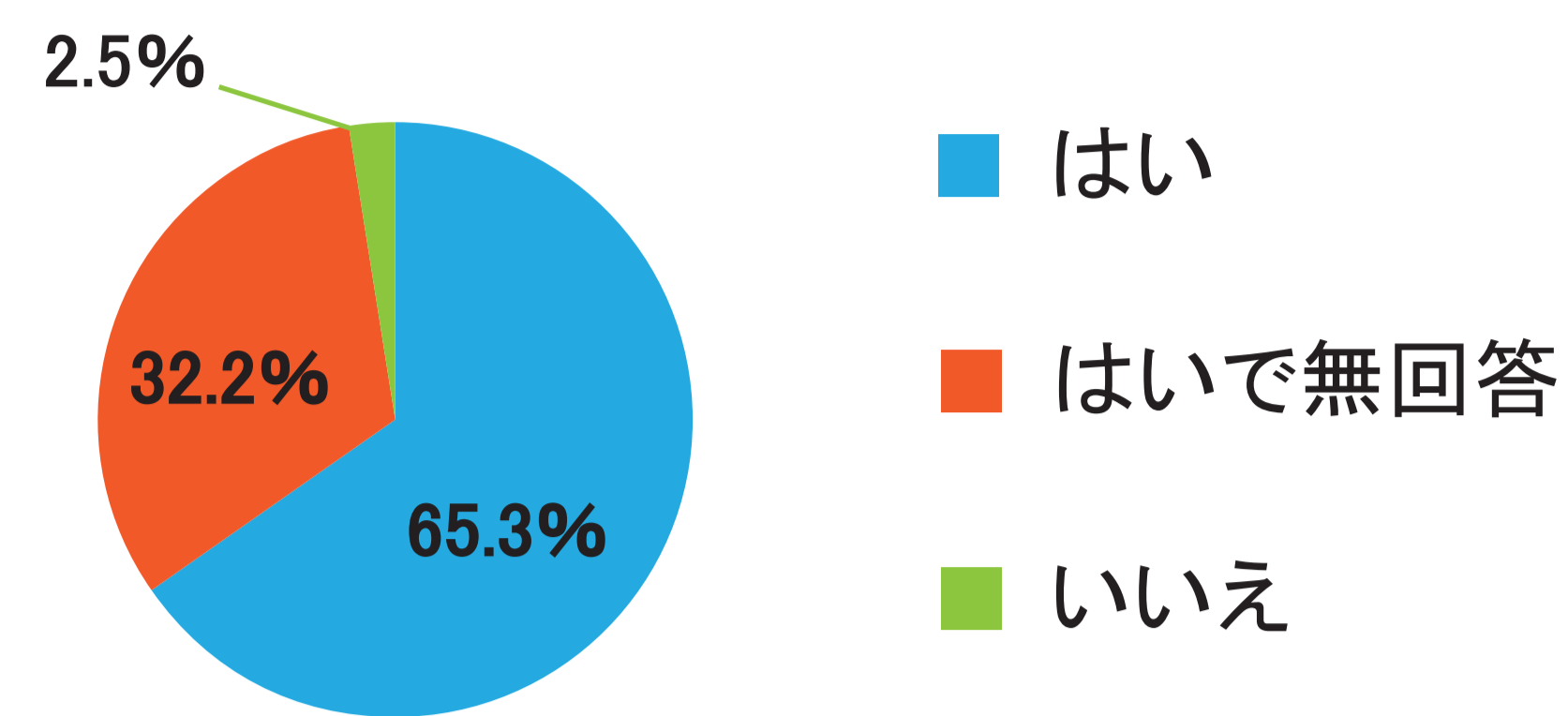
方法: 当薬局に処方せんを持参した患者のうち、医師に認知症との診断をされていない患者で、本研究の参加に同意が得られた患者118名を対象に認知症の初期段階で見られる症状に関する複数の質問を行い回答を得た。

認知症早期発見のためのアンケート

- おいくつになられましたか? ()歳
- TVや新聞は見られますか? (はい・いいえ)
また最近のニュースで印象に残っているものはありますか?
- ところで今日は何月でしょう?
季節は春・夏・秋・冬のどの辺でしょうか?
()月 春・夏・秋・冬
- 電話を使えますか?
はい・いいえ
- お薬の管理はどうされていますか?
()薬局でもらった袋に入れて保管
()お薬ボックスを利用
()お薬カレンダーを利用
()家族に任せている
()その他()
- 最近もの名前が出なくなることが増えましたか?
はい・いいえ

50歳代	15	60歳代	41	70歳代	31	80歳代	31	計	118
平均年齢 ± 標準誤差					男 39 女 79 計 118				
71.1 ± 0.92872									

2. TVや新聞は見られますか?
また最近のニュースで印象に残っているものはありますか?



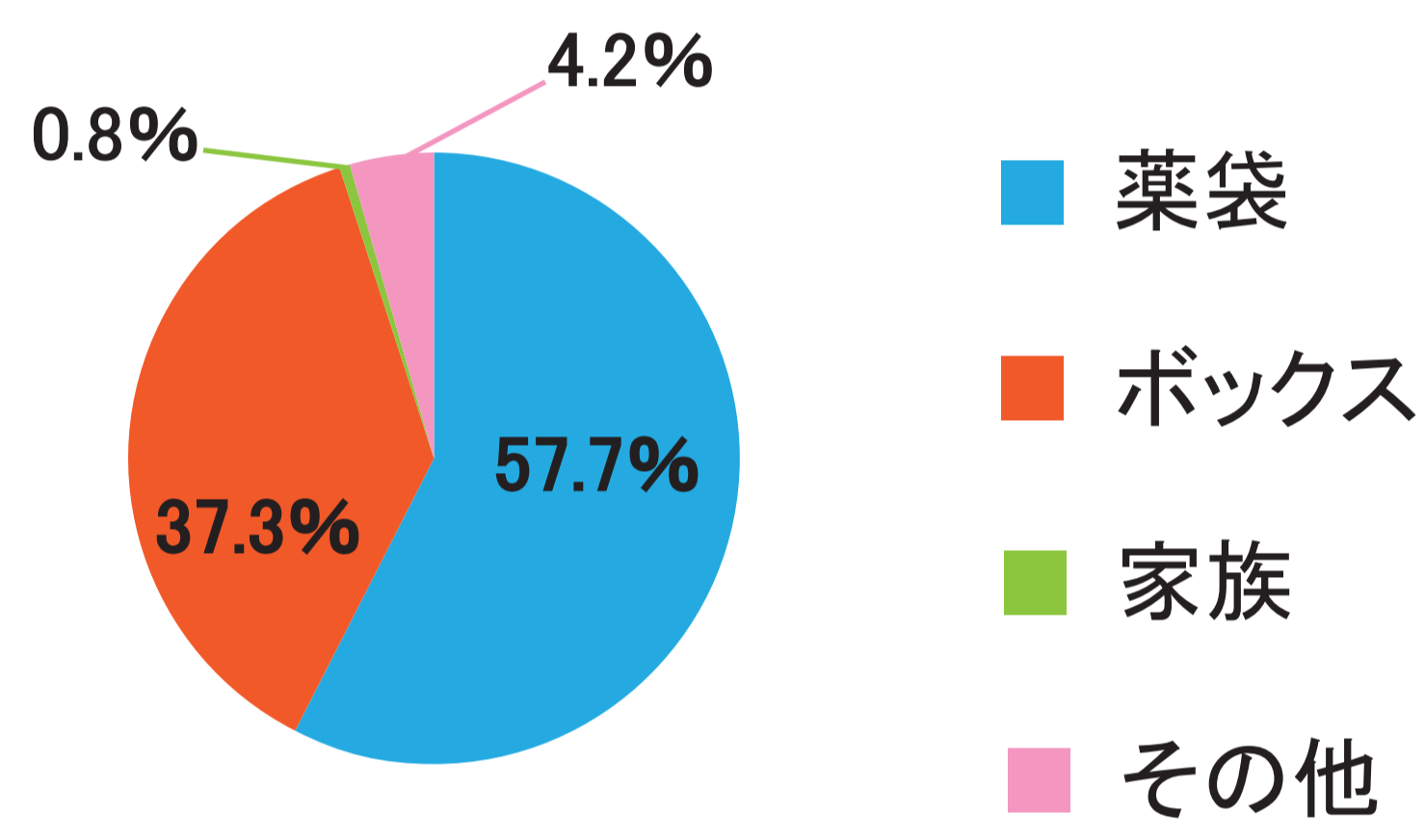
3. ところで今日は何月でしょう?
季節は春・夏・秋・冬のどの辺でしょうか?

1人(60歳女性)を除き、正解

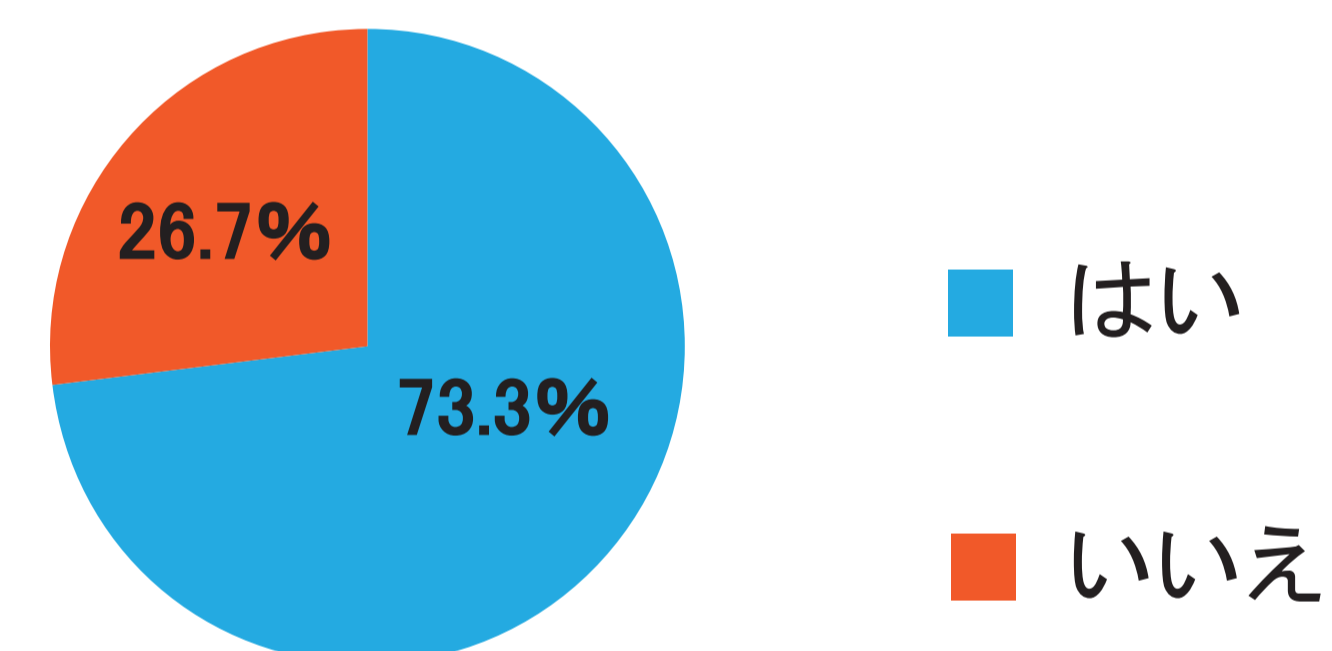
4. 電話を使えますか?

全員が“はい”と回答

5. お薬の管理はどうされていますか?

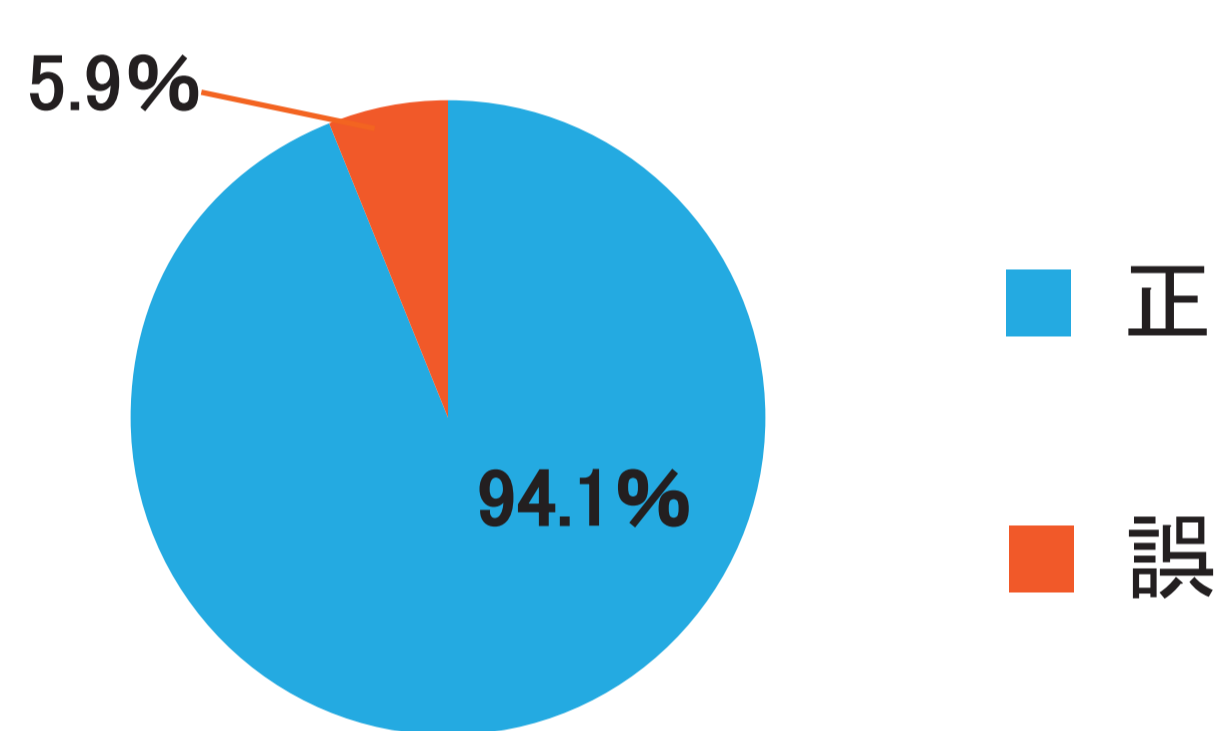


6. 最近物の名前が出なくなることが増えましたか?

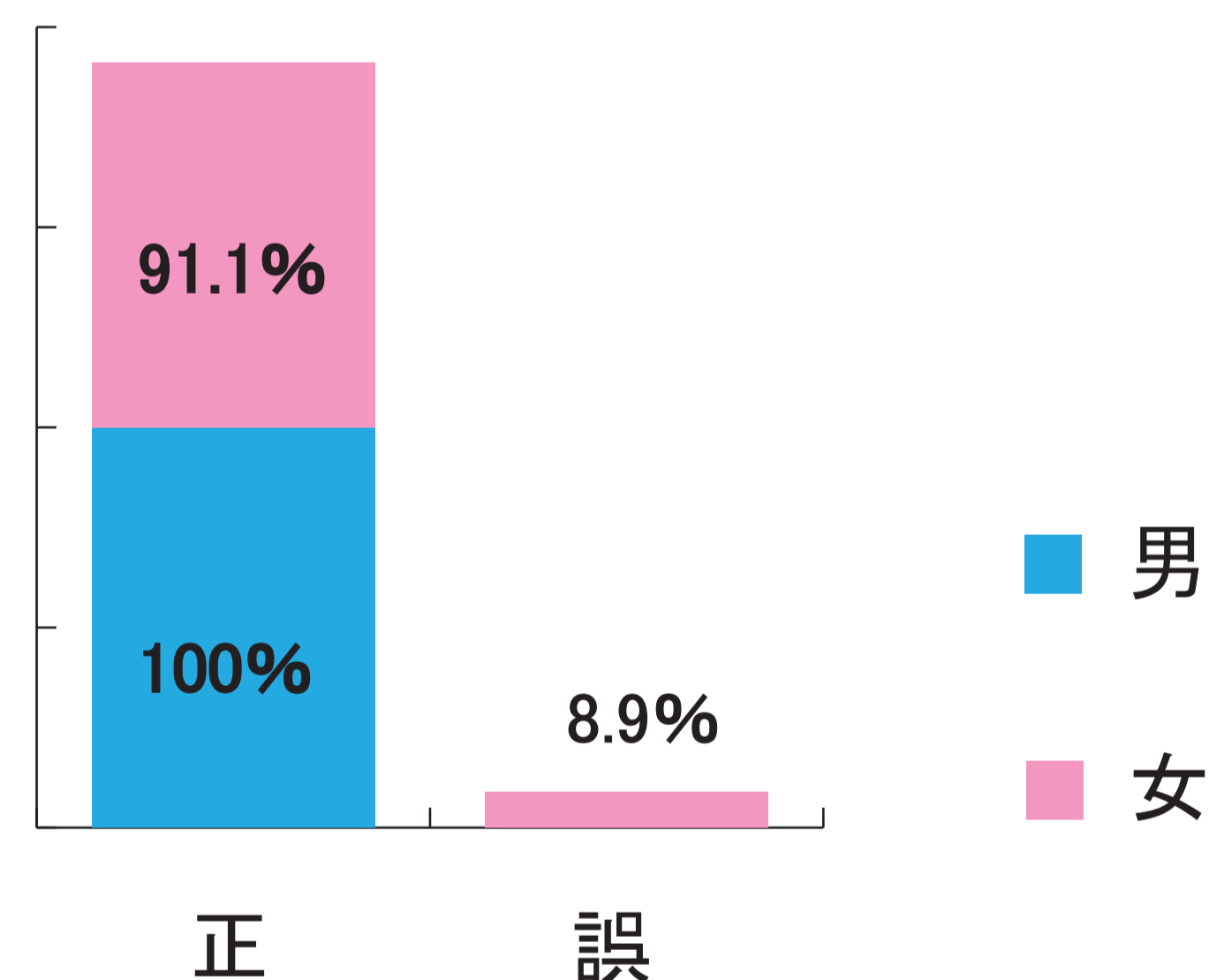


結果

1. おいくつになられましたか?



誤答例: 86歳を87歳、82歳を83歳、85歳を86歳、61歳を62歳、82歳を81歳、87歳を88歳、75歳を70歳(知られたくない為)



今回の質問の中で最も顕著な反応を示した質問では、新聞やテレビをよく見ているにも係わらず、具体的に印象に残っている事を覚えていない患者が全体の約3割にも上った。また、7割以上の患者が最近物の名前が出なくなることが増えたと回答していた。

考察: 認知症を診断するためのメソッドは複数示され臨床応用もされているが、いずれも医師や看護師が用いているものであって、未だ薬局で薬剤師が、早期発見の為に服薬指導の中でそれをどのように実施すべきかが具体的には十分に検討されていないのが現状である。

薬局という制約ある時間と空間の中で、薬剤師が行うメソッドを確立する為の方法を示していく所存である。

